

鳥取こども学園 学園だより



第 17 号

2005年6月1日

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会

電話 (0857) 22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎悌之助



新米館長の独り言



就任のごあいさつ



情緒障害児短期治療施設

鳥取こども学園希望館 館長

竹本 芳宏

はじめまして。この四月から川口前館長の後任として鳥取こども学園希望館の館長という重責を務めさせていただくことになりました。

精神科医の仕事に専念したいという前館

長のご希望と、予てから尊敬する藤野園長の熱心なお誘いを受けて、県職員定年退職を契機に自分の経験が少しでもお役に立てればとの思いでお引き受けしましたが、子どもの処遇を決定する立場の児童相談所から、具体的な処遇を実践する立場になり改めて責任の重さを実感しています。また、今までは現実感のなかった入所児の保護者としての立場も日を追うごとに実感させられ、日々の出来事に少なからぬ戸惑いを感じながら一ヶ月余が経過しました。

以下、これまで自分なりに抱いて来た情緒障害児短期治療施設（以下「情短施設」と略）のイメージと現状との狭間で感じている初歩的感想を独り言として述べさせていただきます、就任のごあいさつとします。

情短施設は、児童福祉法で、軽度の情緒障害を有する児童を短期間入所させ、又は保護者の下から通わせて、その情緒障害を治すことを目的とする施設とされており、基本的には治療施設であります。従って、

入所又は通所に際しては、その保護者や児童との間に何らかの治療的契約が成立していることが予定されています。

私自身は、当館は入所部門については、生活場面と心理治療を上手くリンクさせて処遇を展開し、子ども達の自立を支援する施設と認識して来ましたが、このような処遇を展開する施設を「心理療育施設」と考えてきました。そして、そのためには何らかの形で治療的契約が成立している（双方に意識されている）と考えてきましたが、現状を見るかぎり（あくまでも一ヶ月余の感想ですが）、必ずしも充分でないように思われます。即ち、利用者である保護者や児童本人の意識、生活処遇職員と心理療育職員の意識が上手くリンクしていないのではないかと思われる面があります。

このことは、当館が児童養護施設を母体とした不登校児童中心の生活治療施設として出発した経緯や、治療的契約が成立しにくい被虐待児の入所増などから、必ずしも治療的契約という発想が意識されてこなかったからではないかとも考えられます。

当館も設置されて一〇年を経過した今、もう一度治療的契約について再認識してみる必要があるように思います。

この独り言を今後どう展開するかが当面の私の課題であるように感じています。皆様のご指導を切に願います。

二〇〇四年度事業報告及び 二〇〇五年度事業計画

《法人本部》

神様のご恩寵と皆様の祈りに支えられて、当園事業が恵みのうちに進められましたことに心より感謝申し上げます。

創立百周年の記念すべき年来年を控え、一層のご支援をお願いします。

◆二〇〇四年度事業報告

学園だより15号で報告したとおり、国の「小規模グループケア」の加算を得て、児童養護施設のホームを一ホーム増やし、一ホーム当たりの入所人員を10名から7〜8名までに減らして、子どものケアの一層の充実を図った。更に、情短施設のカウンセリングルーム改修と園内グループホームの改修を行なった他、創立百周年記念事業の企画推進を図った。

◆二〇〇五年度事業計画

一、今年度、自立援助ホーム鳥取フレンド（定員を6名にした）を園外の借家に出し、分園型自活訓練ホームを園内に返した。更に、今年度情短施設にも小規模グループケアが認められたので、希望館において早速実施したい。

二、中部に自立援助ホーム倉吉スマイル（定員6名）を創設した。

三、創立百周年記念事業の推進

①「乳児院（定員20名）その他建設工事」計画。

総事業費 一七五、〇六〇、〇〇〇円

で補助申請。

二〇〇五年度に建物を建て、二〇〇六年4月1日開設を目指します。

（改築含新築643.05㎡及び
改修335.09㎡）

内 訳

- ・乳児院（定員20名）棟新築
（木造1F 233.94㎡+鉄骨増築75.90㎡）
- ・ショートステイ
（木造2F1ホーム120.03㎡）
- ・養護施設ホーム改築
（木造2F、136.04㎡）
- ・親子訓練室
（木造2階建・2ユニット77.14㎡）
- ・管理棟大規模修繕（335.09㎡）
- ・外構工事費等（補助対象外）

②学園墓地の改修

二、〇〇〇、〇〇〇円

③鳥取養育研究所の創設

一、〇〇〇、〇〇〇円

④「創立一〇〇周年記念誌」の発行及び記念式典（二〇〇六年十一月予定）の挙行
三、〇〇〇、〇〇〇円

《資金計画》

総事業費 一八一、〇六〇、〇〇〇円

建築関係国庫補助

六五、九七八、〇〇〇円

鳥取県補助

四一、一七三、〇〇〇円

法人負担 七三、九〇九、〇〇〇円

鳥取市補助（一六、四九三、〇〇〇円借入金返済という形で補助）

平成17年度と平成18年度にかけて、五、〇〇〇万円を目標に寄付金を募集します。

（残りは借入れを予定）

2004年度各施設の月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未 満 児 年 少 児	3 7	43 7	3 8	44 8	4 8	45 9	4 9	44 9	4 9	45 9	5 9	45 9	49 101
情短施設	入 所 通 所	25 8	27 9	28 9	28 9	28 9	29 8	30 9	30 10	28 11	29 11	28 12	25 13	335 118
	外来相談	実人数：2,144人 延人数：3,640人												
子ども家庭支援センター希望館		実相談件数（電話158、来所322、訪問237）：717件、延相談件数（電話238、来所511、訪問243）：992件												
鳥取フレンド		10	11	11	12	12	12	10	10	10	10	10	6	124
保 育 所		163	164	165	170	170	171	170	167	167	165	168	168	2,008
子育て支援センター	利用家庭数 一日平均	249 15	246 18	418 22	450 23	294 16	424 24	297 17	259 17	272 16	210 15	209 14	301 16	3,629 193

本部会計決算書

（収入）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
補助金収入	48,906,000	49,765,210	859,210
寄付金収入	5,114,000	6,645,270	1,531,270
雑 収 入	2,000,000	2,188,767	188,767
繰入金収入	880,000	880,000	0
積立金戻入	0	0	0
合 計	56,900,000	59,479,247	2,579,247

（支出）

（単位 円）

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	2,534,000	2,245,496	△ 288,504
元利償還金	2,310,000	2,309,850	△ 150
繰入金支出	51,056,000	52,394,331	1,338,331
積立金繰入	0	1,000,000	1,000,000
固定資産取得費	1,000,000	1,000,000	0
合 計	56,900,000	58,949,677	2,049,677

歳入歳出差引き残金 ￥529,570－は次年度へ繰り越す。

（注）事務支出には退職給与金を含む。

《児童養護施設

『鳥取こども学園』

今年度、今まで九年間続けていた分園型自活訓練ホーム（東雲寮）を廃止し、園内に戻し（こすもすホーム）、鳥取こども学園は、六ホームとなりました。ここ近年、入所児の低年齢化が進み、中高生が減り、自活訓練ホームに該当する児童が減少した為によるものですが、今まで、一ホーム十人の児童がひしめき合っていた暮らしでしたが、やっと一ホーム七、八人という人数になりました。どのホームも幼児が二、三人と小学生が三、四人というにぎやかなホーム構成で毎日あわただしく過ごしています。子ども達の成長はかわいく、職員も心とむしを与えられています。とは言っても、子ども達の抱えている問題は、多種多様。一人一人の子ども達を大切に育てることを考えると職員の悩みも

♡ 新任です ♡



岸本



石田



岡本



由井



山根

早くみんなの仲間入りできるようがんばります！

つきません。今年は、五人の新任職員を仲間に加え、少しでも家庭的処遇が出来るよう努めています。現在、幼児十名、小学生十九名、中学生四名、高校生九名の四十二名です。また、多くの悩みを抱えている保護者も多く、子育ての専門家として、少しでも手助けが出来るよう、又、信頼関係を構築して、子ども達の成長と一緒に手を取り合って進めていけるよういろいろな行事にお誘いしたり、学校行事等にも進んで参加していただくよう声をかけています。核家族化や保護者の若年化、又、社会から孤立した中で悩み苦しみがら子育てに悪銭苦闘している保護者の方々・地域の方々の力になりたいと考えています。

反面、地域の方々に、鳥取こども学園が支えられていることも忘れてはおりません。今年度も、子ども達と共に一歩ずつ前進していきたいと思えます。

児童養護施設 施設会計決算書

(収入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
措置費収入	148,805,000	149,157,085	352,085
補助金収入	18,346,000	18,786,552	440,552
寄付金収入	732,000	732,500	500
雑 収 入	7,728,000	9,072,295	1,344,295
引当金戻入	3,789,000	3,789,000	0
合 計	179,400,000	181,537,432	2,137,432

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	143,755,000	142,131,295	△ 1,623,705
事業費支出	35,145,000	35,144,812	△ 188
引当金繰入	500,000	4,200,000	3,700,000
合 計	179,400,000	181,476,107	2,076,107

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥61,325—は次年度へ繰り越す。



(平成十六年十二月～十七年五月)

〔学園関係〕

- 12月5日 鳥取いなばライオンズクラブ・餅つき大会
- 23日 学園クリスマス祝会
- 24日 クリスマス・ホームパーティ
- 1月2日 OBすき焼き交流会
- 6日 四施設合同新年会
- 13日 学園創立記念日
- 13～18日 児童福祉展（大丸）
- 14日 希望館通所部門・とんど焼き
- 16日 鳥取ライオンズクラブ・卓球大会
- 2月5～6日 高校生会・スキー合宿（氷ノ山スキー場）
- 3月10日 希望館通所部門・卒業生を送る会
- 14～16日 高校生体験旅行（2名）東京都
- 22日 高校生会・卒業生を送る会
- 5月2日 こいのぼり掲揚式（松の聖母学園）
- 7日 鳥取ライオンズお菓子作り招待
- 12日 希望館通所部門・春の遠足
- 15日 学園こども祭り

《情短施設「希望館」》

鳥取こども学園希望館は、昨年度、入所宿泊部門は二十四名でスタートし、年度途中に九名の退所と十名の入所があり、年度末に二名が家庭復帰しました。通所部門は、七名でスタートし、年度途中に二名の退所と七名の入所があり、年度末には中学三年生五名と小学六年生一名が、学校卒業と共に退所しました。また、情短施設ユニット化に伴う機能移設大規模修繕工事が行われ、十一月に完了しました。

平成十七年四月、希望館はオープンして十二年目に入りました。入所宿泊部門は、二十二名（小学生二名、中学生十一名、高校生八名、その他一名）で、通所部門は八名（小学生一名、中学生七名）でスタートしました。

養育と心理的な援助を目的とする情短施設は、児童指導員・保育士・心理療法を担当する職員・看護師・子どもの精神科に精通している医師が配置されています。平成十七年四月一日現

在では、全国に二十五施設（二府十八県。また、今年度中に北海道に一施設、岐阜県に一施設、計二施設開設予定）です。

希望館は、ここ数年、被虐待児の入所が多数を占めています。子どもたちの生活を、生活、心理、学校教育、精神医学の協働のもとに、援助的な環境を整えてきました。そして、子どもたちが、安心して生活ができ、希望をもてるような環境を整え、職員や他の子どもたちとのかわりの中で成長できるように援助することを目標としています。



みんなで行った海水浴

情短施設 施設会計決算書

(収入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
措置費収入	151,492,000	151,274,076	△ 217,924
補助金収入	12,891,000	14,278,581	1,387,581
寄付金収入	302,000	302,500	500
雑 収 入	2,842,000	3,057,024	215,024
引当金戻入	10,396,000	5,992,000	△ 4,404,000
合 計	177,923,000	174,904,181	△ 3,018,819

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	152,386,000	149,880,632	△ 2,505,368
事業費支出	25,537,000	25,023,549	△ 513,451
引当金繰入	0	0	0
合 計	177,923,000	174,904,181	△ 3,018,819

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

「みどり園関係」

12月18日	クリスマス祝会	講師 田中美幸氏
1月19日	わくわく子育て支援センター「育児講座」	講師 橋本智洋氏
2月22日	参観日(保育参観・講演)	講師 橋本智洋氏
2月1日	交通安全教室(保護者会主催)	
15日	修立小学校体験入学(年長児)	
16日	シルエット観劇(年長児)	
18日	作品展	
27日	鳥取県子ども家庭育み協会 保育研究大会(全職員)	
3月3日	ひなまつり	
10日	平成十七年度入所児説明会&身体検査	
15日	お別れ会	
26日	第五十四回卒園式	
4月1日	進級式	
4日	第五十五回入園式	
7日	お花見会	
21~22日	緊急連絡電話網実施訓練(全家庭)	
26日	春の親子遠足(子どもの国) 保護者会総会	
5月2日	こいのぼり掲揚式に参加(松の聖母学園・年長児)	
26日	育児講座	講師 田尻光照氏

《保育所「鳥取みどり園」》

すこやかな育ちを

願って！

園長 入江 一枝

毎年この時期、園前の涼やかなグリーン
のテントと化す桜やメタセコイヤの木
樹齢約五十数年のこの木々は四季折々に
姿を変えながら、常にゆったりと穏やか
に園児たちを見守り、自然の豊かさ、す
ばらしさを伝え続けています。

時の流れが急速で過激でありにも刺
激の多い昨今、日常の中で癒されること
が激減し、意図的な癒しの空間を求める
時代、子どもたちの育ちに真に大切なこ
とは何なのかが見えにくくなっています。



園庭の遊具で遊んでいる2歳児（鳥取みどり園）

子ども達を取り巻く社会情勢や地域・
家庭環境ですが、先日、園に来られた方
が「この園に来ると時がゆっくり流れて
いてホッとする」と、ふともらした言葉
が嬉しく思いました。

地面にとっしりと根を張って、根っこ
にこだわった保育を心がけ、社会の変革
を感じながら、子どもたちの心の声に耳
を傾け、子どもたちにとって初めて出会
う社会である園生活が、心地よく穏やか
な心の触れ合いの場であって欲しい。そ
して、心豊かな人間づくりの基盤をつく
っていきけるよう心くばり、配慮を忘れな
いようにしていきたい。

「ありがとう！」が自然に素直に言え
るような子どもたちに育ってくれること
を願いながら、今年度も全職員が一丸と
なつてよき働きをしていきたいと思いま
す。

今年度も特別保育事業として、

○地域子育て支援センター事業

○乳児保育促進事業

○障害児保育促進事業

○開所時間延長促進事業（朝七時～夕刻
七時）

を実施しています。

Hちゃんとの

関わりの中で

竹中 成代

私が脳性麻痺のHちゃんと出合ったの

は二年前。すぐに壊れてしまいそうで、
どのように接すればいいのかとても不安
でした。ところが、周りの子ども達は何
のためらいもなくHちゃんに話しかけ、
手を取りほっぺをくっつけ、自然に関わ
っていったのです。Hちゃんも、友達と
一緒に楽しいと思えたようで、私もみん
なと一緒にしたい！と表情豊かに目を
輝かせてやる気満々。苦手だった食事も
喜んで食べるようになり、手を動かし足
をもち上げ、感情面も育ち大泣きをする
こともあり。少しずつではありますが、
生きていく上で大切な力を着実に身
につけていっています。

「障害」は何も特別なことではないと
いうことを子ども達に教わったように思
います。又、やる気を育てることが何よ
り肝心。子どもに寄り添い、その子の持
っている力をより多く引き出せるように
援助していくことが保育者の役目なのだ
ということを確認しました。

Hちゃんは友達から「やる気」をもら
っています。そして、まわりの子ども達
はHちゃんと過ごす中で、優しくや思い
やる心を身につけていっています。今後
も、違いを認め合い助け合いながら生活
していける環境作りに努め、共に育ち合
えるよう仲立ちをしていきたいと思いま
す。

■■■■■■■■■■ 保 育 所 施設会計決算書 ■■■■■■■■■■

(収入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
運営費収入	128,265,000	128,265,140	140
補助金収入	26,026,000	28,153,527	2,127,527
寄付金収入	120,000	114,620	△ 5,380
利用料収入	440,000	652,000	212,000
雑 収 入	1,878,000	1,904,364	26,364
引当金戻入	5,251,000	2,600,000	△ 2,651,000
合 計	161,980,000	161,689,651	△ 290,349

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	143,593,000	143,405,407	△ 77,973
事業費支出	17,507,000	17,251,369	△ 255,631
引当金繰入	0	0	0
繰入金支出	880,000	880,000	0
合 計	161,980,000	161,646,396	△ 333,604

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥43,255ーは次年度へ繰り越す。

《子ども家庭支援センター「希望館」》

児童家庭支援センターは、地域の子どもの福祉の問題について、相談に応じ、アドバイスをしたり、解決の方法をいっしょに考えたり、福祉機関と連携していくなかで、子どもや家庭の福祉の向上を図ることを目的としています。相談内容は、子どもの発達に関する相談、不登校に関する相談、家族機関や人間関係の悩みの相談などさまざまです。平成十六年度の相談件数は、実数約七万件、延件数約千件でした。

また、子ども家庭支援センター「希望館」の特徴として、相談活動を二十四時間体制（夜間は電話相談のみ）でおこなひ、県内の児童福祉施設と連携し、子育てSOS支援ネットワークとNPO法人子どもの虐待防止ネットワークの事務局を併合していることがあげられます。

法律の改正により、この四月から、市町村も児童家庭相談を行うことが業務になりました。現在、競争になっている状態です。このような地域社会の動きを見定め、各機関と協働しているシステムの一員として、親や家庭支援のため地域の人々が最も利用しやすいセンターとなることを希望し、努力しています。

平成16年度子ども家庭支援センター「希望館」センター実績

①相談方法別件数

相談方法	実件数	延件数
電 話	158	238
来 所	322	511
訪 問	237	243
そ の 他	0	0
合 計	717	992

③夜間の対応、及び一時保護件数（延べ件数）

夜間の対応			一時保護	
来所	電話	訪問	件数	平均所要時間
19件	21件	2件	0件	0時間

②相談内訳別件数（実件数）

養 護 相 談	虐待(再掲)	保健相談	障害相談	非行相談	育 成 相 談					いじめ	その他	合 計
					性格行動相談	不登校相談	適正相談	しつけ相談	小 計			
70	67	4	79	3	177	92	208	12	489	7	65	717

子ども家庭支援センター「希望館」会計決算書

(収入)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
補助金収入	9,418,000	9,418,000	0				
(支出)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
事務費支出	9,418,000	9,418,000	0				

《自立援助ホーム「鳥取フレンド」》

この四月から「鳥取市西町二一〇三（0857-27-1198）」に移転しました。学園の敷地を離れ、古い民家の一戸建てを借りて、定員も六名にし、グループホームとして再出発することにしたものです。

現在、男子四名、女子二名と山中友子・捷二及び松永博史で、生活しています。一方では高校生として小遣いをもらいながら親のスネをかじる生活をしている者も多い中で、十五から十七歳で仕事を続けるのは大変ですが、ホームでの生活をとおして、どんな境遇にいても自分の目標を定めて求め続ければ、心は豊かになることをとても感じています。

《自立援助ホーム「倉吉スマイル」が出来ました》

中部に自立援助ホームを創る計画をすすめてきましたが、いよいよ四月から「倉吉市関金町山口六五二（0858-4511565）」に、定員六名でスタートしました。

田村崇寮長と門脇弘道指導員と男子二名、女子一名が生活しはじめました。かなり広い畑も借りて子どもたちと一緒に農作業もし始めました。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計収支決算書

(収入)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
補助金収入	8,601,000	8,601,000	0				
寄付金収入	10,000	110,000	100,000				
利用者負担金収入	1,550,000	1,482,780	△ 67,220				
雑 収 入	1,500,000	1,575,639	75,639				
引当金戻入	1,250,000	1,250,246	246				
繰入金収入	1,400,000	1,400,000	0				
前年度繰越	1,117,000	1,117,489	489				
合 計	15,428,000	15,537,154	109,154				

(支出)				(単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額				
事務費支出	12,185,000	11,799,176	△ 385,824				
事業費支出	3,243,000	3,234,668	△ 8,332				
引当金繰入	0	0	0				
合 計	15,428,000	15,033,844	△ 394,156				

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。

歳入歳出差引き残金 4503310(一は次年度へ繰り越す)

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥503,310-は次年度へ繰り越す。

当学園事業へのご寄付
後援会へのご加入に
感謝申し上げます。

2004年度（2004年4月～2005年3月）の後援会費・
寄付金は353件、総額で7,043,270円となりました。
心より感謝申し上げます。

寄付者 (2004.12.1~2005.5.25)

(敬称略)

[illegible]

物品寄付者(2004.12.1~2005.5.25)

氏 名		氏 名		氏 名		氏 名	
アイエヌジー生命保険株式会社		・伊藤 忠 商 事 (株)	海 陽 亭	コ ー プ 食 品 (株)			
赤 穂 英 子		(株) 榮 太 樓 總 本 舗	川 北 奈 績 美	国 際 ソ ー プ チ ミ ス ト			
浅 井 慶 紀		(株) 海 老 原 光 瑳 子	久松小学校 まっかぜ児童クラブ	骨 と う ラ ン ド			
雨 河 一 就		(株) え ひ め 飲 料 (株)	キ ュ ー ビ ー (株)	後 藤 敏 明			
ア ラ ハ タ 株 式 会 社		(株) 愛 媛 食 品 興 業 (株)	(株) 黒 川 極 洋 子	小 藤 郁 夫			
飯 島 由 智 子		大 尾 食 谷 崎 建 彦	光琳グループ 猪口吉野	近 藤 房 子			
井 田 美 子				讚 陽 食 品 工 業 (株)			

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
シ ン 会 修 立 小 学 校 大 樹 寺 竹 内 道 夫 (株)竹中工務店 鳥取営業所 田 中 温 子 田 中 修 治 段 田 め ぐ み 中国アイスクリーム協会 (株)津田商店 天 狗 伍 詰 (株)	鳥 取 家 畜 保 健 衛 生 所 鳥 取 県 中 小 企 業 団 体 中 央 会 鳥 取 更 正 保 護 女 性 会 (株)ナガノトマト (株)ニチロ 日 東 ア リ マ ン (株) 日 本 鏡 餅 組 合 日 本 果 実 工 業 (株) 日 本 水 産 (株) ハチ食品化(株) フェニックス鳥取店	福 田 眞 恵 福 塚 文 恵 (株)ふくれん (株)ホテフーズコーポレーション 正 田 醬 油 (株) 末 日 聖 徒 イ エ ス キ リ ス ト 教 会 倉 吉 支 部 松 山 は る 彥 丸 善 食 品 工 業 (株) 丸 山 順 子 三 嶋 清 仁 宮 下 尚	(株)明 治 屋 門 司 村 一 眼 徹 百 村 桃 隆 省 (株)森 川 内 根 本 田 正 和 山 山 吉 無 名 二 昭 明 人 氏

鳥取こども学園後援会 2004年度収支決算書

(収 入) 自H16.4.1 至H17.3.31

(単位 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
後 援 会 費	1,798,000	1,697,820	100,180	一時金含む258件 昨年224件
雑 収 入	26	24	2	預金利息
前年度繰越金	836,348	1,494,034	△ 657,686	15年度繰越
合 計	2,634,374	3,191,878	△ 557,504	

(支 出)

(単位 円)

本部会計へ寄付	1,400,000	2,150,000	△ 750,000	自立援助ホーム
役 務 費	17,980	15,870	2,110	振り込み手数料
部 活 支 援	152,800	168,660	△ 15,860	遠征費、チームジャージ 鳥取県トレセン費用他
雑 費	11,025	21,000	△ 9,975	生花代
合 計	1,581,805	2,355,530	△ 773,725	

歳入歳出差引き残金 ￥3,454,016－は次年度へ繰り越す。

鳥取こども学園 同窓会のご案内

毎年、盆の8月14日
と正月の1月2日の
夕方6時半に学園の
地域交流ホームで、
同窓会を行っています。
なつかしい顔に会え
ますので、お気軽に
おいでください。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取こども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」も何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取こども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

1. 「鳥取こども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

お陰様で、1981(S.56)年に借りた5千万円の借金の返済(毎年元金249万円×20年)が、完了しました。まだ毎年、元金188万円の返済が残っていますが、昨年の教育・治療棟の建設でも借金をせずに済ませることができました。感謝! 今後は、子どもたちへの処遇強化に努めたいと思います。更なるご支援をお願いします。

会費・寄付金は下記へ

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎(0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎椒子

振 込 口 座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子や経理状況、ご寄付等を報告と、お礼を申し上げる意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆様の便宜を考えてのことです。ご無理のないようお願い申し上げます。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。